電子情報工学科大ゼミ（同窓会支援企画）「先輩からのメッセージ」

（社会で活躍する OB/OG から学生の皆さんの将来に向けた提言）

同窓生の皆さんによる講演会は今回で3年目を迎え，定番行事になってきました．平成21年度も10～1月に計4回，様々な世代の8名の講師の方々に大学にお出でいただき，現代の技術トレンド，ご自身の貴重な社会体験や考え方，学生時代の大切な思い出などをお話しいただきました．昨年度から「大ゼミ」講演会として大学のカリキュラムに組み込んだため，毎回安定して 100 名以上の学部2年生が聴講します．研究室配属や就職活動が行われる4年生までの中間点，学生たちのリフレッシュや新たな目標設定に大変役立っており，OB/OG の皆様のご協力に深く感謝申し上げます．

鈴木輝暁さん（1977 年卒，東芝）「研究実績の紹介と教育に関する考えについて」―― 東芝で符号理論を研究してきた鈴木さん．社内の仕事をまとめて，最近，博士号を取得され，講演ではその内容をご紹介いただきました．符号理論のもととなる統計理論，曖昧さの数学表現のお話は，学部 2 年生にはやや難しかったかもしれませんが，「知識より考えを学べ」，「想像力を働かせよ」など印象的な言葉の数々は学生に深く残った様です．「大学の勉強が全ての原点だが，実際に会社で役立ったものはない！」というご意見は大学教員にもなかなか強烈です．

中野 聡さん（1996 年卒，東京電力）「電化が切り拓く低炭素社会」―― 昨今，世界的な課題となってきた温暖化．日本で最もこの課題に直面している企業＝東電の状況を，中野さんに詳しく解説していただきました．「CO_2 を 1%減らすのに原子力発電だと 1 兆円かかる．でも自然エネルギーを使うとその 20 倍はかかる」，「電力業界の 10 年後というのはほとんど直近の話．新しいことは何もできない」などなど業界ならではの本音を聞かせてもらいました．また「学生時代にもっと就活をやるべきだった」という後悔は，早まった就活に振り回される今の教育現場に頭の痛いアドバイス．

中野正樹さん（1983 年卒，日産自動車）「電動車パワートレーンの現状と将来」―― 自社で開発販売された過去の電気自動車に乗ってやってきた中野さん．何とヤフオクで自費購入されたモノだそうです．タイヤが地面を蹴る音以外の無音走行に一同感動．講演では，日産で電気自動車開発を指揮する立場から電気自動車の変遷と最近の開発ブームをお話しいただいたほか，電気動力が多方面にわたって活躍しだしている現状を伺いました．特にガソリンで発電機を回し，モーターで動力の小型化と自由度を増した船舶のお話は大変新鮮でした．

本田奈月さん（1996 年卒，NTT）「光アクセス網試験技術-FTTH2000 万加入へ」―― NTT の各家庭向け光通信サービスを開発している本田さん．女性が少ない環境で物性的な探求がやりたくて研究室を選んだ学生時代，研究を続けたいという思いが強かった就職活動，入社後に研究してきた光ファイバー網の正常動作を監視する技術．．．虫やカラスによるケーブル被害など面白い現場の逸話を織り交ぜながらお話いただきました．実は研究成果をまとめて，今年 3 月に博士号も取得されました．学生たちは，会場に回された光ファイバーケーブルの細さに驚いた様子．

山崎雅男さん（1985 年卒，文部科学省）「行政と理工系人材～自分の経験を通して」――「科学の探究や技術開発は自分に向いていない」と当時の文部省に就職した山崎さん．現在，大学などの施設整備を担当されています．政治家との折衝，国会対応，現場視察など，なかなか聞けないお話にみな興味津々．特に，内閣府に在籍して沖縄担当だったとき，いま話題の普天間飛行場問題で名護市移設を決める渦中にいたとか．「現場には様々な声がある，それを一つ一つ拾って調整していくのが大切」という苦労とやりがいが伺えるお話でした．

明吉智幸さん（1986 年卒，NTT）「大学研究と企業研究」―― 本学博士課程第三期，森教授と同期の明吉さん．NTT の LSI 研究所を経て，現在は同社の光エレクトロニクス研究所でマネージャーをされています．NTT で行われている様々なユニークな研究をご披露いただきましたが，特に白黒写真をカラーに錯覚させるマジックには会場がどよめきました．「社会では，何か一芸に秀でるよりも，様々な分野に広く薄く通じていた方がいい」というコメントには正直驚きました．NTT の最先端の研究所でさえ，あまり尖った人は扱いづらいということでしょうか．

中山康子さん（1979 年卒，東芝）「企業における価値創造活動」―― 企業での製品開発の考え方と社会人としての生き方を熱く語っていただいた中山さん．「会社にはそれぞれの DNA がある．東芝の場合，創業者の考え方である世の役に立つということ！」．日本語ワープロ黎明期の秘話や，人に代わって応える秘書エージェントの開発をご紹介いただき，製品開発への情熱，姿勢，使命感までを学生に教授いただきました．「社会では人間力が重要」，「コンピュータは data driven，人間は expectation driven！高い志が人を動かす！」

道下尚文さん（1999 年卒，防衛大学校）「アンテナの研究と UCLA での生活」―― 大学 2 年生のとき，ポケベルや PHS に出逢ってから通信への興味，ハードウェアを作りたいという情熱がわいてきたと語る道下さん．アンテナの研究で博士課程までを本学で過ごして学位を取得し，その後，左手系伝送路，メタマテリアル，透明マントといった新技術を開発しながら，現職で教鞭をとるまでのお話を伺いました．特にアメリカ UCLA に海外留学したときの生活の楽しさや苦労話は，日本とは違う貴重な体験だったようです．

3 年間で既に 24 名の方々にご講演いただきました．もともとこの講演会は，同窓会から在学生への支援が目的でした．しかし様々な世代の OB/OG の方に久しぶりに大学を訪れていただき，懇親会も含めて相互交流することで，同窓生の絆を再確認し，強め合うことにも貢献していると実感しています．この記事をお読みいただければ，同期の方々の社会での活躍ぶりや様々な人生経験をお知りいただくことができると思います．この企画を継続するなかで，より多くの皆さんに講師として参加いただき，交流の輪を広げていただきたいと考えております．平成 22 年度も講師のご推薦を，どうぞよろしくお願いします．

（1985 年卒馬場俊彦，吉川信行（本学教員））